

■釧路管内の状況及び学力向上策（小学校数：54校、児童数：1237人）（中学校数：36校、生徒数：1297人）

【教科全体の状況】

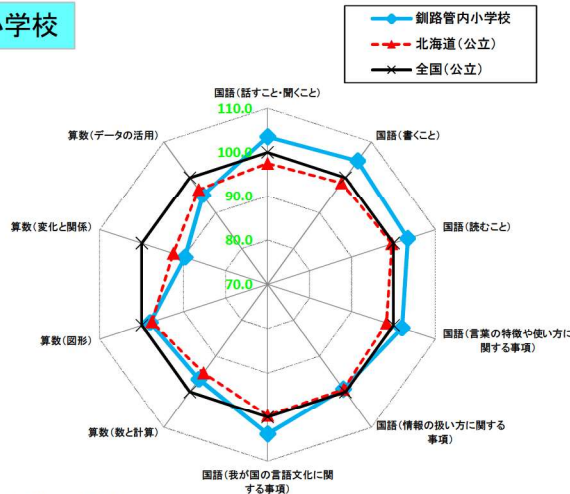
〔レーダーチャート〕

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況
（「管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100」で算出）

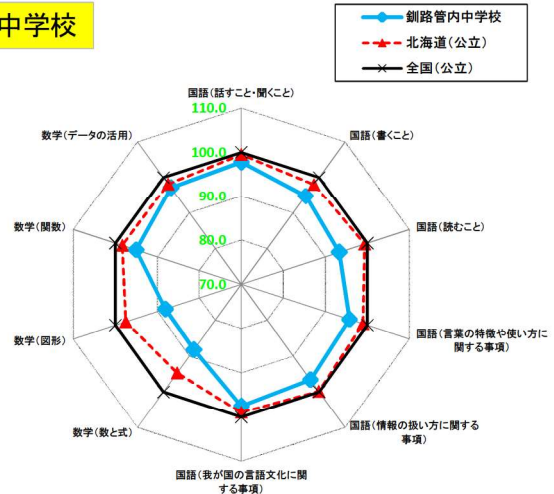
〔管内の平均正答率〕

平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
釧路管内	70[69.6]	61[60.7]	56[55.6]	49[48.7]
全国	68[67.7]	63[63.4]	58[58.1]	53[52.5]

小学校

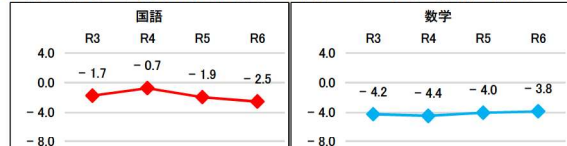
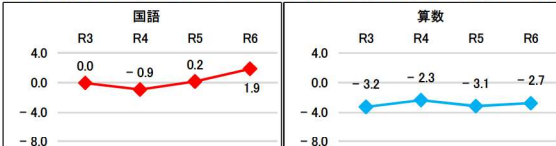


中学校



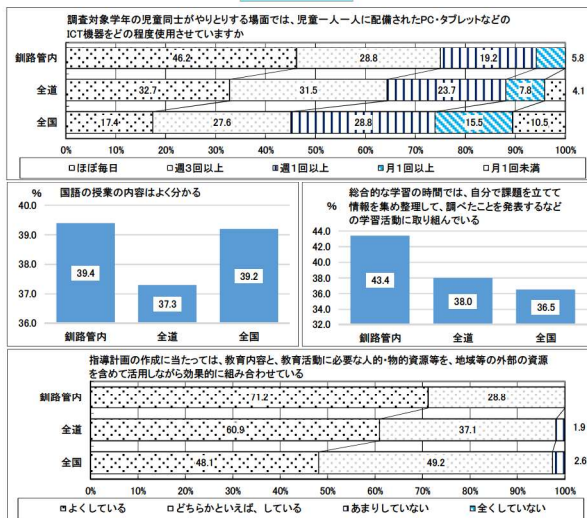
〔平均正答率の推移〕

全国と管内の平均正答率の差について、令和3年度から令和6年度までの推移を示した折れ線グラフ（「管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率」で算出）

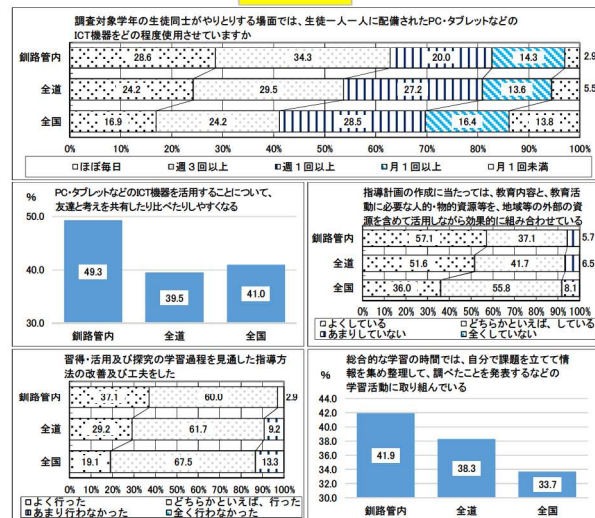


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

多くの学校で、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使用したことにより、国語の授業はよく分かったと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域の外部人材の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせることにより、総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

多くの学校で、生徒同士がやりとりする場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使用したことにより、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせるとともに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行ったことにより、総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【釧路管内の学力向上策】

1. 管内教育の重点（学力）

- 検証改善サイクルの充実など、カリキュラム・マネジメントの推進
- ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 総合的な学習（探究）の時間など、子どもを軸とした地域と学校の連携・協働の推進

2. 具体的な改善策

- 検証改善サイクルの質的向上
 - ・義務教育指導監、指導主事による指導助言等により、学力向上に係る学校課題の改善に向けた方向性と具体策を明確化することを通して、学力向上に係る取組の市町村及び学校の自走を促すとともに、探究の過程を積極的に取り入れた授業の日常的な実施に向けた検証改善サイクルの確立を図り、平均正答率及び、授業の内容はよく分かる、と回答する児童生徒の割合の向上を目指す。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・各教科等における適切な指導と評価の計画や、児童生徒に学びを委ねること等への教員の理解を深めることを通して、1人1台端末を活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図り、授業において、児童生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、表現するなどの学習活動を取り入れる学校の割合の向上を目指す。
- 社会に開かれた教育課程の実現と総合的な学習の時間を中心とした探究の過程の充実
 - ・教育局主催の研修等を通して、各教科等の学習と総合的な学習の時間を往還させながら社会で生きて働く資質・能力を育成することの重要性や、探究して学ぼうとする児童生徒の姿勢を育むことに向けた取組への教員の理解を深めることを通して、各教科等における探究の過程の充実を図る。

3. 具体的な取組計画

月	① 検証改善サイクルの充実など、 カリキュラム・マネジメントの推進	② ICTを活用した個別最適な学びと 協働的な学びの一体的な充実	③ 総合的な学習（探究）の時間など、子 どもを軸とした 地域と学校の連携・協働の推進
4	ASIRU 学力向上推進プロジェクト 学校経営指導訪問、学校教育指導訪問、オンライン相談、「教育支援課便り ASIRU」の発行、各教科等授業改善テクニカルサポート事業、具体的な3つの改善策に係る具体的な取組を関連付けた一体的な取組を通して、管内の学力向上を図る。	釧路管内 ASIRU LDX ネットワークの発足	ASIRU Online Program 主幹教諭及び教諭を対象とした研修
5	検証改善サイクルの確立に向けた基盤づくり ◎ 第1回EBE協議会【管内全ての校長】	探究の過程の充実にに向けた基盤づくり ◎ 授業における発達支持的生徒指導の充実 ◎ 総合的な学習の時間の充実①	
6	学校力向上に向けた総合実践事業中核校による 学校全体の授業力向上に向けた授業実践の継続	学校教育指導訪問（計画訪問①）5月～8月 釧路管内 ASIRU LDX ネットワーク会議の定期開催 各教科等授業改善テクニカルサポート事業の通年実施	北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業実践校による 総合的な学習の時間の充実にに向けた授業実践の継続
7	オンライン相談等による取組の検証改善	探究の過程の充実にに向けた手立ての具体化 ◎ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ① ◎ 授業改善研修会（国語・算数・数学・理科・外国語）①	オンライン相談等による取組の検証改善
8			
9			
10	学校教育指導訪問（計画訪問②）10月～12月		
11	検証改善サイクルの質的向上に向けた取組の共有化	探究の過程を積極的に取り入れた授業実践の共有化 ◎ 総合的な学習の時間の充実②	
12	◎ 第2回EBE協議会 【管内全てのミドルリーダー】	◎ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ② ◎ 授業改善研修会（国語・算数・数学・理科・外国語）②	
1	オンライン相談等による取組の検証改善		
2	教育支援課便り「ASIRU」の発行による学力向上に係る取組の成果の発信・普及		
3	各学校における探究の過程を積極的に取り入れた授業の日常的な実施に向けた検証改善サイクルの確立		